

千葉 あいご

Vol.

93

Index

- 12 令和8年度 千葉県知的障害者福祉協会定期総会
- 2 令和8・9年度 役員等名簿
- 3 千葉県知的障害者福祉協会HPリニューアルについて
- 4 【開催レポート】人材確保委員会／福祉ライブカフェ
- 5 支援スタッフ部会報告
- 6 7 わが施設の自慢・アピールポイント⑤
- 7 新事業所紹介
- 8 千葉知協トピックス
- 8 事務局だより・編集後記



協会公式Instagram▶
フォローをお願いします。

CHITEKIKYO

第93号 (2026年7月号) 発行日：2026年7月20日／発行者：里見吉英／編集者：畠山正昭・美留町麻未・成川 真

発行所：千葉県知的障害者福祉協会

[本部] 千葉市中央区中央3-15-6 山長（ヤマチョウ）ビル4F TEL 043-224-5721 HP <https://caid-net.com/>

[事務局] 船橋市金堀町499-1 大久保学園内 TEL 047-457-2462

令和8年度千葉県知的障害者福祉協会 定期総会

特定非営利活動法人生活サポート千葉



里見会長挨拶

会長挨拶

里見 吉英

定期総会に際して多数の出席をいただき非常に心強く感じております。
千葉県協会は団結力が強いと言われておりまして、会員の皆様のおかげで対外的な交渉など強く申し入れることができております。
さて、昨今の物価高騰について国への要望はこれを第一番目に日本知的障害者福祉協会より

令和8年度 千葉県知的障害者福祉協会定期総会

日時 令和8年4月24日(金) 午後2時15分

会場 ホテルグリーンタワー幕張

厚労省に要請を続けております。その結果、物価高騰対策として、本来であれば来年度の報酬改定が前倒しされ、報酬が上がりましたが今の情勢に追いついていないかという決意を追いついておらず、皆様も実感していると思います。食料品、水道光熱費などが値上がっていて、さらに人件費も高騰しております。我々は公定価格で運営しておりますので、追いつくためには、他の団体と連携して国への要望を続けていくしかありません。人材確保にも影響が大きく、一般企業では初任給が高くなっており、我々の業界では追いつかず人材が流れてこないという状況が続きますと人材難となります。そうなる一番困るのは、障害者の皆様であります。当協会は団結して国や県への要望を続けていかなければならない状況であります。
処遇改善加算については非常に複雑であるため、もっと簡素化してもらえないかとの要望を出しているが、3つのものを一緒にしたというだけで事務量はあまり変わっていない状況であります。
強度行動障害者への支援について、県の「暮らしの場支援会議」に上がっている方が約60名おり、生活の場が決まらない状況であります。県から人件費補助はあるものの、人員を配置しなければ対象とならず、今の人材難では新たに人員を配置することは非常に困難であり、また強度行動障害者への支援はスキルを持ったベテラン職員が対応しなければならぬため、ここ2、3年現在の要件の見直しを要望し続けた結果、県では要件を見直していただき、以前より

も利用しやすくなっております。また、強度行動障害の方を受け入れるためには施設の環境整備が必要ですが、県は現在ある改修補助の基準額もアップしてくれました。県に対して継続して要望をしてきたことがようやく県も理解してくださり結果が表れてきております。

今は地震や台風などの災害がどこで起きてもおかしくありません。協会の会員どおし顔の見える関係でいることで、有事の時に助け合える関係づくりが大切であると思います。協会の災害対策委員会が県内エリアごとに分けて、そのエリアごとに支えていく組織作りに努めているところです。

まだまだ難しい時代は続くと思います。報酬の問題、人材の問題など皆様と協力して情報を共有しながら進めていきたいと思っております。そして来年の1月28・29日に千葉県で障害者支援施設部会の全国大会が開催されます。当協会は伝統的に協会全体で担って開催を行っておりますので、ぜひ会員事業所の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

●定期総会

総会の総合司会は生活サポート千葉の岸恵子氏、総会議長は大利根旭出福祉園の山之内俊雄氏の進行により順調に議事の審議がなされました。令和7年度事業報告、決算報告、令和8年度事業計画、収支予算については原案どおり承認されました。役員改選については事務局より提案がなされ、次期会長についてはこの2年間、会長として活動に取り組まれてきた現会長の里見吉英氏に引き続きお願いしたいことが提案され承認されました。副会長については里見会長より、現副会長の小林勉氏、佐久間智氏、千日清氏に引き続きお願いすることが提案され承認されました。次に監事、事務局長の選任では里

令和8・9年度千葉県知的障害者福祉協会役員等名簿

【役員】

会 長	里 見 吉 英	(佑啓会)
副会長	小 林 勉	(菜の花会)
副会長	佐久間 智	(のさか学園)
副会長・事務局長	千 日 清	(大久保学園)
監 事	白 鳥 征四朗	(心聖会)
監 事	佐久間 水 月	(弁護士)

【部会長】

生産活動就労支援部会	片 山 純	(ワークわく・きよさと)
児童発達支援部会	新 福 麻由美	(桐友学園)
障害者支援施設部会	佐久間 智	(のさか学園)
日中活動支援部会	小田切 紅 子	(あゆーる)
相談支援部会	大 越 将 司	(山武みどり学園)
地域支援部会	内 野 浩 二	(ピア宮敷)
支援スタッフ部会	佐久間 雅 也	(いすみ学園)

【委員長】

スポーツ文化委員会	藤 寄 明	(第2ひかり学園)
研修委員会	小 林 勉	(菜の花会)
広報委員会	畠 山 正 昭	(中里の家)
調査研究委員会	村 山 義 幸	(佐倉福葉苑)
権利擁護委員会	吉 田 和 馬	(かんでら)
福利厚生委員会	中 村 敏 久	(上総喜望の郷)
政策委員会	鈴 木 喬 大	(八日市場学園)
人材確保委員会	中 村 輝 彦	(ピーアンビシャス)
災害対策委員会	稗 田 睦 樹	(佐原聖家族園)

見会長より監事に白鳥征四郎氏、佐久間水月氏、事務局長に千日清氏が提案され承認されました。総会終了後、顧問弁護士石塚英一氏より「福祉全般の相談内容状況」と題して講演していただきました。相談事例について利用者に関する内容では「個人情報取扱い」や「カスタマーハラスメント」について、職員に関する内容では「パワハラ職員に対する退職勧奨」や「試用期間中の解雇」について、施設運営に関する内容では「近隣住民からの苦情」や「グループホ

ーム賃貸建物の返還と現状回復」についての相談内容が報告されました。令和8年4月現在で380事業所が協会に加盟しており、顔の見える関係づくりや活動を盛り上げていくには各部会、委員会が活発に活動して機能していくことが重要であると思います。協会加盟事業所の皆様には積極的に協会への参加をよろしくお願いいたします。

以上報告いたします。

千葉県知的障害者福祉協会 広報委員会

千葉県知的障害者福祉協会のホームページをリニューアルしました

4月1日に千葉県知的障害者福祉協会（以降、県知的福祉協会）のホームページをリニューアル公開しました。皆さんもう見ていただけたでしょうか。今回は新しいホームページの特徴を4つ紹介します。

1つ目がカラフルで見やすいデザインに一新したこと。全体のデザインをパット明るく、視覚的に情報が飛び込んでくるカラフルな見た目に刷新しました。

スマホからでもPCからでも知りたい情報がすぐに見つかります。

2つ目は千葉県地図から地域を選択し、施設を簡単に検索できるようにしました。千葉県をベイエリア・東葛飾エリア・北総エリア・九十九里エリア・南房総エリア・かずさ臨海エリア・その他と7つに分けました。検索方法は地図上でエリアと事業タイプを選択後、検索タブをクリックすると、エリア内にある選んだ事業体の施設が表示されるようになり、事業体からの検索がしやすくなりました。同じエリア内に皆さんがお勤めの事業体の施設がどれくらいあるか興味がある方は検索してみてください。

3つ目は採用特設タブを新設しました。就職希望の方がそこから入っていただくと、県知的福祉協会に登録してある施設全てを検索することができます。県知的福

祉協会のホームページを見たという方があなたの法人の求人情報を見に来てくれるかもしれません。

4つ目は今後展開していく予定ですがSNS連携です。各施設で公開しているSNSへ検索結果や施設一覧からアクセスできるようにしていきます。

学生や20代の方は就職先の情報を得る為にSNSを見ているそうです。各施設で公開しているSNSへの直接的なアクセスだけではなく、協会ホームページから間接的にあなたの施設の活動を見に行ってくれる方が増えることを期待しています。

広報委員会 中里の家 小笠原 純



URL <https://caid-net.com>

開催レポート

新しい福祉のカタチに出会う場所「FUKUSHI LIVE CAFE」

～スーツを脱いで語り合った、未来の働き方～

社会福祉法人光明会 山本 樹

■現場の「リアル」に触れる
対話空間

最大の特徴は「スーツを脱いで私服で行こう!」という積極的な呼びかけです。参加者が自然体のままで、施設で働くスタッフや利用者の方々と対等な目線で語り合

2026年3月18日、JR千葉駅直結のペリエホールにて、千葉県知的障害者福祉協会主催の「FUKUSHI LIVE CAFE」が開催されました。これから就職活動を本格化させる学生や社会人を対象とした本イベントは、従来の説明会の枠を越え、福祉の魅力を肌で感じる全く新しい体験型の場として企画されました。

■五感で福祉の魅力を体感

会場内では、福祉の世界を知るためのプログラムが展開されました。全26法人が集結したブースでは、現場スタッフから仕事のやりがいや苦労といった本音が語られ、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、ウェルカフェコーナーでは施設利用者が手作りしたお菓子や工芸品が展示されました。商

■資格や経験よりも、大切な「想い」

アンケートでは「全ての施設が温かく受け入れてくれる印象が変わった」「無資格で不安だったが熱意を考慮してもらえると聞き背中を押され



ってほしいという願いから生まれました。当日の会場は私服姿の参加者で溢れ、リラックスした空気はかきこまれた。各ブースではかしこまった質疑応答ではなく、笑いを交えた等身大のコミュニケーションが生まれていました。

品づくりが社会参加にどう繋がるのかを学び、福祉施設が生み出す価値を見つける貴重な機会となりました。さらに、実際の作業を利用者の方々と一緒に体験できるブースも大盛況で、言葉だけでは伝わらない交流の輪が広がっていました。

た」といった声が寄せられました。専門知識以上に、人の役に立ちたいという思いやりが求められていることが伝わったようです。自身の将来を照らす発見と、福祉の温もりに出会う特別な一日となりました。

開催レポート

学生の心を動かすメッセージづくり

～令和7年度「法人の魅力を伝える採用活動研修会」を開催～

社会福祉法人光明会 山本 樹



福祉業界全体において人材確保が急務となる中、学生たちに障害者福祉の仕事が持つ本来の魅力をいかんとして的確に届けるかは、多くの法人が直面している共通の課題です。こうした背景のもと、2

026年1月13日、千葉県社会福祉センターにて、人材確保委員会が主催する「法人の魅力を伝える採用活動研修会」が開催されました。本研修会は採用担当者若手職員が一体となり、実践的なノウハウを学ぶ場です。今年度は「発信した情報を学生の心にどう響かせるか」という伝え方の質に焦点を当てました。講師に一般社団法人FACE to FUKUSHIの岩本恭典代表理事と、unipile代表取締役の野中翔太氏をお招きし、満席の会場は熱気に包まれました。

■伝え方の質を高める
実践プログラム

研修は、手を動かしながら学ぶ実践的なステップで進められました。まず初めに、自法人が持つ強みは何かという原点に立ち返り、ブレることなく一貫して伝えるメッセージの土台を築き上げました。続いて、学生がSNS上でどんな投稿に共感するのかを具体例から分析し、抽象的な言葉ではなく、学生の等身大の価値観に寄り添う刺さるキーワードのつくり方を学びました。そして最後に、限られた時間で施設の魅力を的確に伝えるため、担当者の論理的な視点と若手職員の感情に訴える視点を融合させ、30秒で伝える共感プレゼ

■「自分らしく働けそう!」と
思ってもらうために

参加者が一緒になって自法人の魅力を深掘りし、自らの言葉を紡ぎ出した今回の研修。「この法人なら自分らしく働けそう!」と感じてもらえる温かいメッセージを届けることが、採用の大きな壁を突破する鍵となります。各法人の今後の採用活動に直結する、確かな手応えに満ちた実りある一日となりました。

ンのシナリオ作成に挑戦しました。完成した渾身のプレゼン披露では、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

支援スタッフ部会報告

今年度は、役員改選の年となり、4月に開催いたしました、支援スタッフ部会第1回代表者会議にて、部会長に再任させていただきましたことになりました、社会福祉法人榎の里いすみ学園の佐久間雅也（まさなり）と申します。

今回で3期目となりました。まだ、皆様に助けていただくばかりではありませんが、精一杯精進していきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

役員改選に伴い、東葛北、東葛南、

山武・印旛、香取・海匝の、4ブロックのブロック長が代わりました。今年度の支援スタッフ部会の活動として、学習会を年に2回実施する事になりました。

第1回学習会は、代表者ではない方の参加も大歓迎です。是非沢山のの方に参加していただけたら幸いです。又、支援スタッフ部会の学習会を通して、横の繋がりを構築していただけたらと思います。

社会福祉法人榎の里 いすみ学園
支援スタッフ部会 部会長 佐久間雅也

令和8年度 支援スタッフ部会 運営委員名簿

役 職	氏 名 (施設名)
部 会 長	佐久間 雅 也 (いすみ学園)
副 部 会 長 兼 夷隅・長生ブロック長	鶴 岡 秀 隆 (ピア宮敷)
副 部 会 長 兼 市原・安房・君津ブロック長	阿 部 桂 佑 (クローバー学園)
東 葛 北 ブ ロ ッ ク 長	関 根 洋 貴 (野田市心身障がい者福祉作業所)
東 葛 南 ブ ロ ッ ク 長	河 名 美 帆 (あきつ園)
千 葉 ブ ロ ッ ク 長	本 山 雄 大 (こころふる浜野)
山 武・印 旛 ブ ロ ッ ク 長	富 谷 宏 喜 (めいわ)
香 取・海 匝 ブ ロ ッ ク 長	米 川 洋 平 (北総育成園)
事 務 局 長	荒 田 真 充 (みらい工房)

令和8年度 支援スタッフ部会 機能別委員会への派遣委員名簿

委員会名		東葛北	東葛南	千葉	印旛・山武	香取・海匝	市原・安房・君津	夷隅・長生
スポーツ・文化	氏 名	岸 達人	吉田 一稀	山本 健太	本宮 潤一	鈴木 篤	山田 浩也	秋元 裕規
	事業所	豊四季光風園	こいけホーム	エルピザの里	しもふさ工房	香取学園瑞穂寮	上総ゆうゆうの郷	青松学園
研 修	氏 名	池田 琢朗	永坂 剛毅	川島 尚子	菊本 雅博	上川 絹世	平嶋 洸介	涛川 紀之
	事業所	かりん	大久保学園	オリーブファミリア	協和厚生園	大利根旭出福祉園	中里の家	ピア宮敷
広 報	氏 名	成川 真	根本 法男	美留町麻未	高橋 良彰	小西 崇之	大友 彰	斎藤貴美子
	事業所	なしねっと	のまる	オリーブハウス	障がい者就労・生活さばーとピース	しおさいホーム	袖ヶ浦ひかりの学園	いすみあかね園
調査研究	氏 名	仁木 大輔	鈴木 優一	秋元 泰明	新井 大吾	山崎 笑	本吉 友幸	岩井 和也
	事業所	野田芽吹学園	あかね園	みらい工房おおぞら	木の宮学園	佐原聖家族園	第2クローバー学園	長生厚生園
権利擁護	氏 名	新倉 結希	長嶋 佑己	渡辺 翔	渡邊 弘希	築地 宏忠	宮口 貴子	是枝志津子
	事業所	第二わかば園	カメラハウス	花見川ワークサポート	カマラードの里	ひかり学園	木更津中郷丸	いすみ学園
福利厚生	氏 名	名代 京平	谷口 紀子	飯野 美穂	渡辺 一樹	川口 智行	赤間 公隆	深井 務
	事業所	ひばり	浦安市障がい者支援センター	晴山会	かしの木園	八日市場学園	千原厚生園	みずほ学園
人材確保	氏 名	進藤 美幸	山方康次郎	野中 太陽	鎮目 時生	佐々木高洋	伊藤 達也	吉野 孝志
	事業所	けやき社会センター	花の実園	父の樹園	八街わらの里	のさか学園	クローバー学園	夷隅郡市福祉作業所

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント⑤

平成20年度から50回にわたり120の“プチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は3つの“プチ自慢”です!

千葉ブロック…社会福祉法人あしたば…中野学園

～一人ひとりの「できる」を育む～

社会福祉法人あしたば中野学園は、千葉市若葉区にある「知的障害者支援施設」です。1988年に千葉市で最初に開設した知的障害者の方の入所施設です。

施設で長く暮らし続けることを前提とするのではなく、将来の暮らし方を利用者の皆さんと一緒に考え、その人らしい生活に繋げていく「通過型施設」を基本方針としています。

中野学園の建物の配置は、広い敷地を有効に活用し、地域生活をイメージしたつくりとなっています。入所は一グループ10名の小舎制で、建物3棟が程よい距離において建てられ、それぞれの生活棟にお風呂・厨房を備えており、一人ひとりのペースを尊重した生活となっています。温かい食事をそれぞれのタイミングで提供できるため、無理に時間を合わせる必要がありません。そのため、気持ちのコントロールが難しい方も穏やかに過ごしやすい環境となっています。また、開設当初から生活の



外観



リビングでの様子



朝食準備

場面も、日中活動の各パートも一人の担当職員で展開を進めており、利用者の方にとって混乱がなく、分かりやすく取り組むことができます。

朝食場面では利用者の皆さんも調理や配膳に参加し、それぞれができることに取り組みます。「おいしかったよ」「ありがとう」という言葉はみなさんにとって大きな喜びとなり、自信や意欲に繋がります。私たちはこれから一人ひとりの経験を大切にしながら、その人らしい豊かな暮らしを目指していきます。

支援職員 興野 摩祐

東葛南ブロック…社会福祉法人フラット…フラットヴィレッジ

～働く楽しさと地域のつながりを大切に～

フラットヴィレッジは、白井市にある就労継続支援A型・B型事業所です。

障害や病気のため一般企業で働くことに難しさを感じている方へ、働く機会や知識・能力を高めるための訓練、サポートを提供しています。私たちは「ここで働けて本当に嬉しい」「ここで働くことが誇りだ」と感じていただける職場づくりを大切にし、一人ひとりが自信を持って地域の中で自分らしく活躍できるよう支援しています。

就労継続支援A型では、アメリカ西海岸をイメージしたカフェ＆レストランを運営しています。障害の有無に関わらず、大人も子どもも、地域に住むさまざまな人が気軽に集い、自然につながり合える場所づくりを目指しています。福祉施設としてだけでなく、地域の皆さまが集う交流の拠点として、多くの人が出会い、つながる場を提供しています。

就労継続支援B型では、干し芋やさつまいもを使用したスイーツづくりを行っています。干し芋はさつまいも



フラットヴィレッジ外観



干し芋

を蒸す工程から製造し、完成した商品のご利用者さんとともに駅やショッピングモールなどで販売しています。自分たちで作った商品をお客様へ届ける経験を通して、働く喜びや達成感を感じながら、接客や販売の経験を積み、自信や仕事への意欲につなげています。

フラットヴィレッジは、福祉サービスを提供する場であると同時に、地域とのつながりを大切にする交流の場でもあります。働くことを通じて人と人とのつながりを育み、誰もが分け隔てなく暮らせる「フラットな社会」の実現を目指しています。

就労支援員 大塚 澄玲

香取・海匠ブロック 社会福祉法人さざんか会 北総育成園

～作業活動を通して「役割と出番のある暮らし」を～

社会福祉法人さざんか会北総育成園は障がいを持った我が子の行く末を案じた船橋在住の親御さんの想いから昭和49年に東庄町の地に誕生しました。今年で創立52年を迎え、「働くこと 生きること」を理念として利用者さんと共に汗を流し作業活動に励んできました。現在も7作業班で活動しています。今回は林産班、農耕班、ありのまま工芸班の活動をご紹介します。

林産班では原木椎茸の栽培に取り組んでいます。利用者さんと職員が共に汗を流して原木を運び美味しい椎茸を栽培しています。原木からとれる椎茸は厚みやうまみが段違いで販売でも大好評です。農耕班では1.5haの畑で玉ねぎや白菜など四季折々の野菜を栽培しています。中でも冬場の切り干し大根づくりは長年続く農耕班の代表的な作業です。冷たい風が吹きつける中収穫から天日干しまで利用者さんと共に切干大根作りに励んでいます。北総の看板商品である切り干し大根は色が良く甘みもあ



林産班 作業風景



農耕班 作業風景



ありのまま工芸班 作品

り道の駅（多古・栗源）でもすぐ売り切れるほど人気商品です。ありのまま工芸班は介護度の高い利用者さんが多い室内作業班です。その人の「ありのまま」を受けとめウォーキングや瓢箪磨きなど軽作業に取り組んでいます。利用者さんが磨いた瓢箪に職員が付加価値を加えて世界に一つだけの製品を作って販売しています。利用者さんの努力を製品にかえることも大切に日々の活動に取り組んでいます。これからも利用者さんと共に「役割と出番のある暮らし」を大切に取り組んでいきたいと思

支援主任 米川 洋平

新事業所紹介

児童入所施設・グループホーム一体型施設
社会福祉法人佐啓会

ふる里学舎 船橋

子どもたちの成長を支え、
未来へつなぐ

社会福祉法人佐啓会は、福祉型障害児入所施設20名、短期入所（併設型）4名、グループホーム（介護サービス包括型）14名、短期入所（単独型）6名を備えた「ふる里学舎船橋」を開設しました。

当法人ではこれまで南房総市と袖ヶ浦市で、それぞれ定員20名の障害児入所施設を運営してきましたが、社会的養護を必要とする児童の利用が途切れることはなく、特に北部圏域からの利

用増により満床が続いていました。こうした状況を受け、より多くの子どもたちを受け入れられる新たな拠点として、船橋市に新施設を開所する運びとなりました。

併設するグループホームは、児童入所施設で課題となっていた「次の暮らしの場探し」を解消するために整備されたもので、子どもたちが成長し大人になった後も、慣れ親しんだ環境で安心して生活を続けられるよう支援する役割を担っています。

生活の場が途切れない体制を整えることで、将来の不安を軽減し、安心して生活できる環境づくりを目指しています。また、地域で高まる受け皿のニーズにも応える拠点として、児童期から成人期まで一貫した支援を提供できる点も大きな特徴です。今後も両事業の連携を深め、地域とのつながりを大切にしなが、子どもたちの成長を支える事業所づくりを進めてまいります。

施設長 松尾 球太



千葉知協
トピックス

スポーツ文化委員会 藤 崎 明

熱戦！ 千葉県障害者スポーツ大会



今年度も千葉県障害者スポーツ大会が、5月24日の千葉県総合スポーツセンター陸上競技場での総合開会式を皮切りに、知的障害関係では、陸上競技、水泳、卓球、ボウリングの4競技によって開催されました。

本大会は、10月に開催される全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおり障害スポ」への千葉県代表選手選考も兼ねており、各競技とも県代表を目指して熱い戦いが繰り広げられ、知的障害関係では、以下の選手が大会記録を更新しました。

【陸上】

男子50m青年…能城裕人（ふる里学舎）
男子200m青年…重松颯太（one's）
男子400m青年…寫田開人

（Diversity A.C. 千葉）

男子1500m壮年…海老原聖也（我孫子市）
男子ジャベリックスロー青年…立津流星

（ふる里学舎）

男子ソフトボール投青年…藤崎雅人（成田市）
女子400m青年…渋谷美咲（SRC）

【水泳】

男子25m自由形壮年…西沢 亮（松戸市）
男子50m自由形青年…上村 温（我孫子市）
女子50m背泳ぎ青年…安藤 渉（成田市）

全国障害者スポーツ大会

「青の煌めきあおり障害スポ」千葉県代表選手決定

10月23日から26日まで青森県で開催される第25回全国障害者スポーツ大会「青の煌めきあおり障害スポ」の千葉県代表派遣選手が発表されました。千葉県の知的障害関係選手枠は個人競技30名、団体競技15名。千葉県選手団の大きな活躍が期待されます。

知的障害関係の派遣選手は以下のとおりです。

【陸上競技】

安西 伸浩、山本京子（以上、ひかりAC）
勝股 美和（八日市場学園）
村上 太樹、梅田 晴斗（以上、流山高等学園）
永山 式真、武次 優奈（以上、市川大野高等学園）

高野 琉輝（印旛特別支援学校さくら分校）
林 篤志（香取特別支援学校）
貝谷 旭紀（柏市）

原野 史奈（我孫子市）
佐藤 羽、河村 拓海（以上、one's）
寫田 開人、米澤 諒（以上、Diversity A.C. 千葉）

【水泳】

上村 温（我孫子市）
中島 啓智（習志野市）
安藤 渉（成田市）
八重樫 準、鈴木千絵子（以上、市川市）

【卓球】

館 純平、新井野乃花（以上、TOMAX）
出口 翔太（SON・千葉）

松長 美代（螢雪学園）
【ボウリング】

林 和孝（大網白里市）
大津山 勉（八千代市身体障害者協会）
友田 彩花（君津市）

【フライングディスク】

佐藤 大夢（市川大野高等学園）
渡邊倅之介（白井市）
田中 秀治（市原市）

【ソフトボール】

大木 聡（富里福葉苑）
佐々木雄悟（市川大野高等学園）
境 大介（佐倉市）
谷奥 大晴（四街道市）
宮内 透允（成田市）
福田 大生（流山市）
四宮 悠誠（八街市）
東 佳汰（東金市）
森口 市瑛、松井 広大（以上、市川市）
古川 将行、鯉江 周平、滝 颯太、
三浦 有馬、樋口 太雅（以上、船橋市）

※派遣選手（所属も含む）は、6月19日現在のもので

事務局便り

事務局長 千日 清

梅雨入り、夏に向かって覚悟を。
野球 バレー フットサル・・・全国大会。
全員の大活躍を祈念

編集後記

なしねっと 成川 真

異動や変化の4月が過ぎて新しい環境、仲間と頑張られている方も多いと思います。「あいご93号」も新年度になって初めての号らしい内容になっています。本年度も皆様よろしく願っています。